

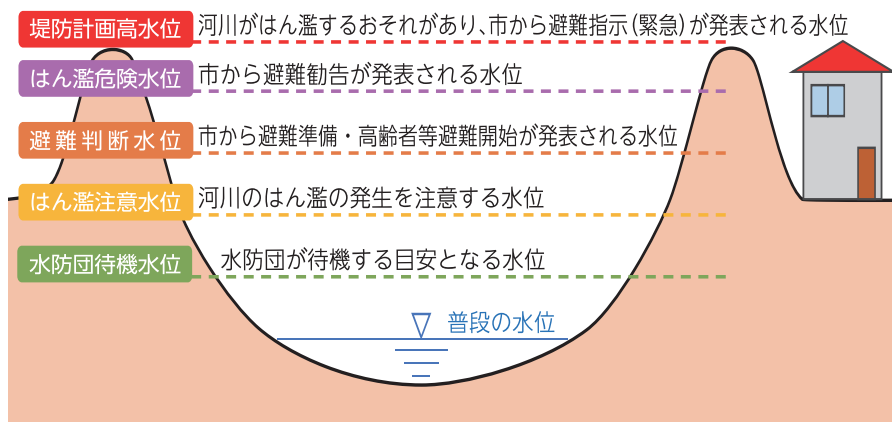
河川の水位情報

各河川の水位観測所において、あらかじめ設定された水位に達した場合、河川管理者（国や県）から河川の水位に関する情報が提供されます。

いざというときに正確な判断ができるように、避難情報の種類と意味を正しく理解しましょう。

河川名	霞ヶ浦	北 浦
観測所	霞ヶ浦	北 浦
堤防計画高水位	2.85m	2.85m
はん濫危険水位	2.60m	2.60m
避難判断水位	2.50m	2.50m
はん濫注意水位	2.10m	2.10m
水防団待機水位	1.50m	1.50m

(想定雨量:192時間総雨量 853mm)



※霞ヶ浦、北浦は流域面積が広いこともあり、雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります

内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫は、降った雨を支川・水路等で排水できないときに発生します。

支川・水路等の排水能力を超える雨が降った場合に、支川・水路等から水があふれたり、支川・水路等に入りきれないで地上に溜ったままになったりします。

降った雨は、支川・水路等を通って川に排水されます。大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、支川・水路等があふれてしまいます。

外水氾濫とは、堤防から水が溢れたり、堤防が決壊して浸水することをいいます。

大雨によって河川の水位が上昇します。水位が上昇し、堤防に様々な力が加わります。水の力に耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。水が流れることで崩れた場所が広がり、多くの水が流れ込みます。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で土砂災害の危険が高まったときに、県と気象庁が共同で発表するものです。

発表された場合は、いつでも行動できるように準備するほか、市が発令する避難情報に注意しましょう。

危険を感じたら、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全なところに避難してください。

